



## D

---

**Last Updated: June 19, 2007**

**database (ccn reporting historical)**

db-hostname (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

dbname (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

db-password (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

db-port (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

dbtype (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

db-username (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

**default (ccn application)**

default (ccn engine)

default (ccn reporting historical)

default (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

default (ccn subsystem fax) : IVR のみ

default (ccn trigger http) : IVR のみ

default (ccn trigger jtapi)

default (ccn trigger sip)

default ccm-manager (ccn subsystem jtapi)

default ctiport (ccn subsystem jtapi)

default gateway (ccn subsystem sip)

default security password length min

default security pin length min

default-from (ccn subsystem fax) : IVR のみ

description (ccn application)

description (ccn reporting historical)

dtmf-relay

# database (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴ローカル データベースを設定するには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **database local** コマンドを使用します。データベース設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**database local**

**no database local**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

**コマンドデフォルト** Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースは、デフォルトでローカル データベースとして設定されます。

**コマンドモード** Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更点
	3.0	このコマンドが導入されました。

**例** 次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴ローカル データベースが設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# database local
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<a href="#">show ccn reporting historical</a>	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

# db-hostname (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) のホスト名を設定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS 設定モードで **db-hostname** コマンドを使用します。ホスト名をデフォルトのホスト名に変更するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**db-hostname** *hostname*

**no db-hostname** *hostname*

## シンタックスの説明

*hostname* ホスト システムの名前。ドメイン名は含めないでください。

## デフォルト

デフォルトは、Cisco Unity Express IVR モジュールの IP アドレスです。

## コマンドモード

Cisco Unity Express IVR EDBS 設定

## コマンド履歴

### Cisco Unity Express

#### バージョン

#### 変更点

3.0

このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

*hostname* 値は Cisco Unity Express IVR モジュールを識別します。デフォルト値は、モジュールの IP アドレスです。



(注)

Cisco Unity Express は、Cisco Unity Express IVR モジュールのプロンプトで *hostname* 値を使用します。

## 例

次の例では、モジュールのホスト名が *myHost* に変更され、次にデフォルトのホスト名が復元されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# db-hostname myHost
mybranch(config)# no db-hostname myHost
se-10-0-0-0(config)#
```

## 関連コマンド

### コマンド

### 説明

[show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ](#)

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのプロファイル設定を表示します。

## dbname (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) の名前を指定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定モードで **dbname** コマンドを使用します。データベース名を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**dbname** *external-db-name*

**no dbname** *external-db-name*

シンタックスの説明	<i>external-db-name</i> 外部データベース名を文字列として指定します。				
コマンドデフォルト	デフォルトのデータベース名はありません。				
コマンドモード	Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定				
コマンド履歴	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">Cisco Unity Express バージョン</th> <th style="text-align: left;">変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">3.0</td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	Cisco Unity Express バージョン	変更点	3.0	このコマンドが導入されました。
Cisco Unity Express バージョン	変更点				
3.0	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	<i>ccn subsystem edbs dbprofile</i> コマンドが正しく実行された後で、 <b>dbname</b> コマンドを使用して、外部データベースの名前を指定します。この名前を指定しないと、Java Database Connectivity (JDBC) ドライバはデフォルトデータベースを使用して接続します。名前を指定すると、JDBC ドライバはその名前の外部データベースに接続します。				
例	<p>次の例では、オプションのデータベース名が設定されます。</p> <pre> se-10-0-0-0# config t se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile Adding new Database profile se-10-0-0-0(config-dbprof)# dbname atlanta se-10-0-0-0(config-dbprof)# end se-10-0-0-0(config)# exit </pre>				
関連コマンド	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;"><a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">Cisco Unity Express IVR EDBS データベースの設定内容を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR EDBS データベースの設定内容を表示します。
コマンド	説明				
<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR EDBS データベースの設定内容を表示します。				

## db-password (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) のパスワードを設定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS 設定モードで **db-password** コマンドを使用します。パスワードを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**db-password** *password*

**no db-password** *password*

シンタックスの説明	<i>password</i> システムにパスワードを設定します。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	Cisco Unity Express IVR EDBS 設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">Cisco Unity Express バージョン</th> <th style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">3.0</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	Cisco Unity Express バージョン	変更点	3.0	このコマンドが導入されました。
Cisco Unity Express バージョン	変更点				
3.0	このコマンドが導入されました。				
例	<p>次の例では、モジュールのパスワードが設定されます。</p> <pre>se-10-0-0-0# config t se-10-0-0-0(config)# db-password ***** se-10-0-0-0(config)#</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">コマンド</th> <th style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;"><a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのプロファイル設定を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのプロファイル設定を表示します。
コマンド	説明				
<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのプロファイル設定を表示します。				

## db-port (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) のポート番号を指定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定モードでオプションの **db-port** コマンドを使用します。データベースのポート番号を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**db-port** *port-number*

**no db-port** *port-number*

<b>シンタックスの説明</b>	<i>port-number</i> (オプション) Cisco Unity Express IVR EDBS のデフォルト ポート番号以外のポート番号。
------------------	---

**コマンドデフォルト** なし

**コマンドモード** Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定

<b>コマンド履歴</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border: none;">Cisco Unity Express バージョン</th> <th style="border: none;">変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">3.0</td> <td style="border: none;">このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	Cisco Unity Express バージョン	変更点	3.0	このコマンドが導入されました。
Cisco Unity Express バージョン	変更点				
3.0	このコマンドが導入されました。				

**使用上のガイドライン** *ccn subsystem edbs dbprofile* コマンドが正しく実行された後で、オプションの **db-port** コマンドを使用して、データベースのデフォルト ポート番号以外のポート番号を指定します。データベースは、通常、デフォルト ポート番号を使用して開始されますが、デフォルト ポート番号が別のポート番号に変更されている可能性もあります。ポート番号がデフォルト ポート番号以外の番号になっている場合は、**db-port** コマンドを使用してそのポート番号を指定する必要があります。デフォルト ポート番号である場合、このコマンドを使用する必要はありません。

**例** 次の例では、Cisco Unity Express IVR EDBS がポート番号 10 を使用するよう設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile
Adding new Database profile
se-10-0-0-0(config-dbprof)# db-port 10
se-10-0-0-0(config-dbprof)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

<b>関連コマンド</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border: none;">コマンド</th> <th style="border: none;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;"><a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a></td> <td style="border: none;">Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。
コマンド	説明				
<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。				

## dbtype (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) のタイプを設定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定モードで **dbtype** コマンドを使用してデータベース タイプを設定します。データベース タイプを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
dbtype {DB2 | MSSQL-MSDE | ORACLE | SYBASE}
```

```
no dbtype {DB2 | MSSQL-MSDE | ORACLE | SYBASE}
```

シンタックスの説明	
DB2	基本データベース サブシステムを IBM データベースに設定します。
MSSQL-MSDE	基本データベース サブシステムを Microsoft SQL または Microsoft Database Engine データベースに設定します。
ORACLE	基本データベース サブシステムを Oracle データベースに設定します。
SYBASE	基本データベース サブシステムを Sybase データベースに設定します。

**コマンドデフォルト** データベース タイプは設定されていません。

**コマンドモード** Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express
バージョン	変更点
3.0	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** *ccn subsystem edbs dbprofile* コマンドが正しく実行された後で、**dbtype** コマンドを使用して、データベース タイプを DB2、MSSQL-MSDE、Oracle、または Sybase として設定します。**dbtype** コマンドは必須です。

**例** 次の例では、データベース タイプが Sybase に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile
Adding new Database profile
se-10-0-0-0(config-dbprof)# dbtype sybase
se-10-0-0-0(config-dbprof)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのプロファイル設定を表示します。

## db-username (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) に接続するために必要なユーザ名を指定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定モードで **db-username** コマンドを使用します。指定したユーザ名とパスワードの文字列を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**db-username** *userid*

**no db-username** *userid*

### シンタックスの説明

<i>userid</i>	データベースへの接続を認証するためのユーザ名。
---------------	-------------------------

### コマンドデフォルト

ユーザ名は設定されていません。

### コマンドモード

Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定

### コマンド履歴

#### Cisco Unity Express

#### バージョン

#### 変更点

3.0

このコマンドが導入されました。

### 例

次の例では、データベース プロファイルのユーザ名およびパスワードが設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile
Adding new Database profile
se-10-0-0-0(config-dbprof)# db-username James db-password dbpasswd
se-10-0-0-0(config-dbprof)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR EDBS のプロファイル設定を表示します。



# default (ccn application)

Cisco Unified Communication Network (CCN) アプリケーションのパラメータをデフォルト値にリセットするには、CCN アプリケーション設定モードで **default** コマンドを使用します。

**default** {description | enabled | maxsessions | parameter name}

## シンタックスの説明

<i>description</i>	アプリケーションの説明をアプリケーションの名前に設定します。
<i>enabled</i>	アプリケーションを有効にします。
<i>maxsessions</i>	セッションの最大数をポート ライセンスの数に設定します。
<i>parameter name</i>	パラメータの値をスクリプトに設定されたデフォルトに設定します。



(注) パラメータ名は **show ccn application** コマンドを使用して表示できません。

## コマンドモード

CCN アプリケーション設定

## コマンド履歴

### Cisco Unity Express

リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

## 使用上のガイドライン

**default** コマンドは、Cisco Unified Communication Network (CCN) アプリケーションのパラメータをデフォルト値に設定します。

## 例

次の例では、セッションの最大数がポート ライセンスの数に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn application voicemail
se-10-0-0-0(config-application)# default maxsessions
se-10-0-0-0(config-application)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
<a href="#">ccn trigger sip phonenumber</a>	アプリケーションの CCN トリガーの値を設定します。
<a href="#">show ccn application</a>	すべての CCN アプリケーションの詳細を表示します。

## default (ccn engine)

CCN アプリケーションで実行される手順数の上限をデフォルト値に設定するには、CCN エンジン設定モードで **default** コマンドを使用します。

### default maxsteps

シンタックスの説明	<i>maxsteps</i>	CCN アプリケーションで実行される手順数の上限。デフォルトは 1000 です。
-----------	-----------------	--

コマンドモード	CCN エンジン設定モード
---------	---------------

コマンド履歴	Cisco Unity Express リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

**例** 次の例では、指定されたパラメータが工場出荷時の値にリセットされます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn engine
se-10-0-0-0(config-engine)# default maxsteps
se-10-0-0-0(config-engine)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
	<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
	<a href="#">ccn trigger sip phonenumber</a>	アプリケーションの CCN トリガーの値を設定します。
	<a href="#">show ccn engine</a>	CCN エンジンの情報を表示します。

# default (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの値をデフォルト値にリセットするには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **default** コマンドを使用します。

**default {database | description | enabled | purge}**

## シンタックスの説明

<b>database</b>	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースは、デフォルトでローカルデータベースとして設定されます。
<b>description</b>	(オプション) Cisco Unity Express システムのホスト名。
<b>enabled</b>	レポート履歴データベースを有効にします。レポート履歴データベースを無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
<b>purge</b>	消去のパラメータは設定されていません。

## コマンドデフォルト

デフォルトは、Cisco Unity Express システムのホスト名です。

## コマンドモード

Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

## コマンド履歴

### Cisco Unity Express

#### バージョン

#### 変更点

3.0

このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

複数の Cisco Unity Express IVR システムが履歴データを同じデータベースに保存する場合に各システムのデータをデータベース サーバで区別できるようにするには、その Cisco Unity Express IVR 履歴データベースを説明する名前を作成します。

## 例

次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースのパラメータがデフォルト値にリセットされます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# default database local
se-10-0-0-0(config-hrdm)# default description
se-10-0-0-0(config-hrdm)# default enabled
se-10-0-0-0(config-hrdm)# default purge
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">show ccn reporting historical</a>	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

## default (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) の値をデフォルト値にリセットするには、Cisco Unity Express IVR EDDBS プロファイル設定モードで **default** コマンドを使用します。

```
default {credentials | dbname | dbtype | description | enabled | db-hostname | maxactive | parameter
| db-password | db-port | db-username}
```

### シンタックスの説明

<b>credentials</b>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースに対する効果はありません。
<b>dbname</b>	データベース名は設定されていません。
<b>dbtype</b>	データベース タイプは設定されていません。
<b>description</b>	(オプション) Cisco Unity Express システムのホスト名。
<b>enabled</b>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースを有効にします。エンタープライズ データベースを無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
<b>db-hostname</b>	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースは、ローカル データベースとして設定されます。
<b>maxactive</b>	最大値を設定します。最大値は、ライセンスで許可されている Cisco Unity Express IVR セッション数の 2 倍です。
<b>parameter</b>	(オプション) パラメータ名と値のペアは設定されていません。
<b>db-password</b>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのパスワードを空文字列に設定します。
<b>db-port</b>	(オプション) ポート番号をデフォルト ポート番号に設定します。
<b>db-username</b>	Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベースのユーザ名を空文字列に設定します。

### コマンド モード

Cisco Unity Express IVR EDDBS プロファイル設定

### コマンド履歴

Cisco Unity Express	
バージョン	変更点
3.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

*ccn subsystem edbs profile* コマンドを入力した後に、**default** コマンドを使用してデータベースの値をデフォルト値にリセットします。

**例**

次の例では、Cisco Unity Express IVR EDBS の値がデフォルト値にリセットされます。

```

se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile
Adding new Database profile
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default credentials
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default dbname
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default dbtype
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default description
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default enabled
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default db-hostname
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default maxactive
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default parameter
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default db-password
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default db-port
se-10-0-0-0(config-dbprof)# default db-username
se-10-0-0-0(config-dbprof)# end
se-10-0-0-0(config)# exit

```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<a href="#">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR EDBS のプロファイル設定を表示します。

## default (ccn subsystem fax) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR ファックス アプリケーションのファックスの *default-from* 電子メールアドレスを削除するには、Cisco Unity Express IVR ファックス設定モードで **default** コマンドを使用します。

```
default default-from email-address-string
```

シンタックスの説明	<i>email-address-string</i> ファックス アプリケーションの <i>default-from</i> アドレスの電子メールアドレス文字列。				
コマンドデフォルト	なし				
コマンドモード	Cisco Unity Express IVR ファックス設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">Cisco Unity Express バージョン</th> <th style="text-align: left;">変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.0</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	Cisco Unity Express バージョン	変更点	3.0	このコマンドが導入されました。
Cisco Unity Express バージョン	変更点				
3.0	このコマンドが導入されました。				
例	<p>次の例では、Cisco Unity Express IVR ファックス アプリケーションのファックスの <i>default-from</i> 電子メールアドレスが削除されます。</p> <pre>se-10-0-0-0# config t se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem fax se-10-0-0-0(config-fax)# default default from name@domain.com se-10-0-0-0(config-fax)# end se-10-0-0-0(config)# exit</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><a href="#">show ccn subsystem fax : IVR のみ</a></td> <td>Cisco Unity Express IVR ファックス サブシステムの設定内容を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<a href="#">show ccn subsystem fax : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR ファックス サブシステムの設定内容を表示します。
コマンド	説明				
<a href="#">show ccn subsystem fax : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR ファックス サブシステムの設定内容を表示します。				

## default (ccn trigger http) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR の HTTP トリガーの値をデフォルト値にリセットするには、Cisco Unity Express IVR HTTP トリガー設定モードで **default** コマンドを使用します。

**default** {application | enabled | idletimeout | locale | maxsessions}

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>application</b>	アプリケーションに対する効果はありません。
	<b>enabled</b>	HTTP トリガーを有効にします。HTTP トリガーを無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
	<b>idletimeout</b>	アイドルタイムアウトを 10,000 秒に設定します。
	<b>locale</b>	ロケールを「systemDefault」に設定します。
	<b>maxsessions</b>	セッションの最大数をポート ライセンスの数に設定します。数を 0 に設定するには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。

**コマンドモード** Cisco Unity Express IVR HTTP トリガー設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	バージョン	変更点
		3.0	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** *ccn trigger http* コマンドが正しく実行された後で、**default** コマンドを使用して HTTP トリガーの値をデフォルト値にリセットします。

**例** 次の例では、Cisco Unity Express IVR の HTTP ベース トリガーの値がデフォルト値にリセットされます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger http
se-10-0-0-0(config-trigger)# default application
se-10-0-0-0(config-trigger)# default enabled
se-10-0-0-0(config-trigger)# default idletimeout
se-10-0-0-0(config-trigger)# default locale
se-10-0-0-0(config-trigger)# default maxsessions
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<a href="#">show ccn trigger http : IVR のみ</a>	トリガーおよびアプリケーションの設定を表示します。Cisco Unity Express IVR の HTTP ベース トリガーの設定を表示するには、 <b>show ccn trigger http</b> コマンド オプションを使用します。

## default (ccn trigger jtapi)

CCN の JTAPI トリガーのパラメータをデフォルト値にリセットするには、CCN トリガー JTAPI 設定モードで **default** コマンドを使用します。トリガーを無効にする場合、または **maxsessions** の数を 0 に設定する場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**default** {**application** | **enabled** | **idletimeout** | **locale** | **maxsessions**}

**no default** {**enabled** | **maxsessions**}

### シンタックスの説明

<i>application</i>	アプリケーションに対する効果はありません。
<i>enabled</i>	トリガーを有効にします。トリガーを無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
<i>idletimeout</i>	アイドルタイムアウトを 10,000 秒に設定します。
<i>locale</i>	ロケールを「systemDefault」に設定します。
<i>maxsessions</i>	セッションの最大数をポート ライセンスの数に設定します。数を 0 に設定するには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。

### コマンドモード

CCN トリガー JTAPI 設定

### コマンド履歴

Cisco Unity Express	
リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

### 例

次の例では、セッションの最大数がポート ライセンスの数に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger jtapi phonenumber 1234
se-10-0-0-0(config-trigger)# default maxsessions
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
<a href="#">show ccn trigger all</a>	すべての CCN アプリケーションの詳細を表示します。



# default (ccn trigger sip)

CCN の SIP トリガーのパラメータをデフォルト値にリセットするには、CCN トリガー SIP 設定モードで **default** コマンドを使用します。トリガーを無効にする場合、または **maxsessions** の数を 0 に設定する場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**default** {**application** | **enabled** | **idletimeout** | **locale** | **maxsessions**}

**no default** {**enabled** | **maxsessions**}

## シンタックスの説明

<i>application</i>	アプリケーションに対する効果はありません。
<i>enabled</i>	トリガーを有効にします。トリガーを無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
<i>idletimeout</i>	アイドルタイムアウトを 10,000 秒に設定します。
<i>locale</i>	ロケールを「systemDefault」に設定します。
<i>maxsessions</i>	セッションの最大数をポート ライセンスの数に設定します。数を 0 に設定するには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。

## コマンドモード

CCN トリガー SIP 設定

## コマンド履歴

Cisco Unity Express リリース		変更点
1.0		このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1		このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2		このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

## 例

次の例では、セッションの最大数がポート ライセンスの数に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger sip phonenumber 1234
se-10-0-0-0(config-trigger)# default maxsessions
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
<a href="#">show ccn trigger all</a>	すべての CCN アプリケーションの詳細を表示します。

# default ccm-manager (ccn subsystem jtapi)

Cisco Unity Express で使用する Cisco Unified Communications Manager の JTAPI サブシステムのパラメータをデフォルト値にリセットするには、Cisco Unity Express CCN サブシステム JTAPI 設定モードで **default ccm-manager** コマンドを使用します。

```
default ccm-manager {address | username | password}
```

## シンタックスの説明

<i>address</i>	Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスを 0.0.0.0 に設定します。
<i>username</i>	CCM の JTAPI ユーザ名を空文字列に設定します。
<i>password</i>	CCM の JTAPI パスワードを空文字列に設定します。

## コマンドモード

CCN サブシステム JTAPI 設定

## コマンド履歴

Cisco Unity Express リリース		変更点
1.0		このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1		このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2		このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

## 例

次の例では、Cisco Unified Communications Manager サーバのアドレスが 0.0.0.0 に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem jtapi
se-10-0-0-0(config-jtapi)# default ccm-manager address
se-10-0-0-0(config-jtapi)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
<a href="#">ccn subsystem jtapi</a>	CCM の JTAPI パラメータを設定します。
<a href="#">ccn trigger sip phonenumber</a>	アプリケーションの CCN トリガーの値を設定します。
<a href="#">show ccn subsystem jtapi</a>	CCN サブシステムの JTAPI の詳細を表示します。

# default ctiport (ccn subsystem jtapi)

Cisco Unified Communications Manager の CTI ポートのアドレスをデフォルト値(空文字列)にリセットするには、Cisco Unity Express CCN サブシステム JTAPI 設定モードで **default ctiport** コマンドを使用します。

## default ctiport

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

**コマンドモード** CCN サブシステム JTAPI 設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

**例** 次の例では、Cisco Unified Communications Manager CTI ポートのアドレスが空文字列に設定されません。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem jtapi
se-10-0-0-0(config-jtapi)# default ctiport
se-10-0-0-0(config-jtapi)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
	<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
	<a href="#">ccn subsystem jtapi</a>	CCM の JTAPI パラメータを設定します。
	<a href="#">ccn trigger sip phonenumber</a>	アプリケーションの CCN トリガーの値を設定します。
	<a href="#">show ccn subsystem jtapi</a>	CCN サブシステムの JTAPI の詳細を表示します。

# default gateway (ccn subsystem sip)

SIP サーバのパラメータをデフォルト値にリセットするには、Cisco Unity Express CCN サブシステム SIP 設定モードで **default gateway** コマンドを使用します。

```
default gateway {address | port}
```

## シンタックスの説明

address	SIP サーバの IP アドレスを 0.0.0.0 に設定します。
port	SIP ポートを 5060 に設定します。

## コマンドモード

CCN サブシステム SIP 設定

## コマンド履歴

### Cisco Unity Express

リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

## 例

次の例では、SIP サーバのポートが 5060 に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem sip
se-10-0-0-0(config-sip)# default gateway port
se-10-0-0-0(config-sip)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
<a href="#">ccn engine</a>	すべての CCN アプリケーションで使用されるパラメータを設定します。
<a href="#">ccn subsystem sip</a>	CCM の JTAPI パラメータを設定します。
<a href="#">ccn trigger sip phonenumber</a>	アプリケーションの CCN トリガーの値を設定します。
<a href="#">show ccn subsystem sip</a>	CCN サブシステムの SIP の詳細を表示します。

# default security password length min

セキュリティ パスワードの長さをデフォルトの最小値に設定するには、Cisco Unity Express 設定モードで **default security password length min** コマンドを使用します。

**default security password length min**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

**デフォルト** パスワードの長さは3です。

**コマンドモード** Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express リリース	変更点
	2.1	このコマンドが導入されました。

**例** 次の例では、パスワードの長さがリセットされます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# default security password length min
se-10-0-0-0(config)# end
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>security password</b>	システム全体のパスワードの長さとお有効期間を設定します。
	<b>show security detail</b>	パスワードおよび PIN の設定を表示します。

# default security pin length min

セキュリティ PIN の長さをデフォルトの最小値に設定するには、Cisco Unity Express 設定モードで **default security pin length min** コマンドを使用します。

**default security pin length min**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

**デフォルト** PIN の長さは 3 です。

**コマンドモード** Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express リリース	変更点
	2.1	このコマンドが導入されました。

**例** 次の例では、PIN の長さがリセットされます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# default security pin length min
se-10-0-0-0(config)# end
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>security pin</b>	システム全体の PIN の長さとお有効期間を設定します。
	<b>show security detail</b>	パスワードおよび PIN の設定を表示します。

## default-from (ccn subsystem fax) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR ファックス アプリケーションの *default-from* アドレスを設定するには、Cisco Unity Express IVR ファックス設定モードで **default-from** コマンドを使用します。*default-from* アドレスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**default-from** *email-address-string*

**no default-from** *email-address-string*

### シンタックスの説明

*email-address-string*      ファックス アプリケーションの *default-from* アドレスの電子メールアドレス文字列。

### コマンドモード

Cisco Unity Express IVR ファックス設定

### コマンド履歴

#### Cisco Unity Express

#### バージョン

#### 変更点

3.0

このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

電子メールを受信できる有効な電子メールアドレス文字列を入力します。このアドレスは、送信に失敗したことを示す通知を受信できる必要もあります。

### 例

次の例では、ファックスの *default-from* 電子メールアドレスがリセットされます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem fax
se-10-0-0-0(config-fax)# default-from name@domain.com
se-10-0-0-0(config-fax)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">show ccn subsystem fax : IVR のみ</a>	Cisco Unity Express IVR ファックス サブシステムの設定内容を表示します。

# description (ccn application)

CCN アプリケーションのオプションの説明を指定するには、Cisco Unity Express CCN アプリケーション設定モードで **description** コマンドを使用します。説明を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**description** "text"

**no description** "text"

## シンタックスの説明

text	アプリケーションを説明するテキストを指定します。テキストは二重引用符で囲みます。
------	--

## デフォルト

文字列は定義されていません。

## コマンドモード

CCN アプリケーション設定

## コマンド履歴

### Cisco Unity Express

リリース	変更点
------	-----

1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

## 例

次の例では、CCN autoattendant アプリケーションの説明が追加されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn application autoattendant
se-10-0-0-0(config-application)# description "Release 1 AA"
se-10-0-0-0(config-application)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn application</a>	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
<a href="#">show ccn application</a>	CCN アプリケーションの詳細を表示します。



## description (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースを説明する名前を作成するには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードでオプションの **description** コマンドを使用します。説明を、システムに設定済みのホスト名に設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**description** *word*

**no description** *word*

### シンタックスの説明

<i>word</i>	レポート履歴データベースの説明。
-------------	------------------

### コマンドデフォルト

Cisco Unity Express システムのホスト名。

### コマンドモード

Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

### コマンド履歴

Cisco Unity Express バージョン	変更点
3.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

複数の Cisco Unity Express システムが履歴データを同じデータベースに保存する場合に各システムのデータをデータベース サーバで区別できるようにするには、その Cisco Unity Express 履歴データベースを説明する名前を作成します。

### 例

次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの説明が作成されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# description cue-192-1-2-11
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">show ccn reporting historical</a>	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

## dtmf-relay

SIP DTMF (Dual Tone MultiFrequency) リレー メカニズムを設定するには、Cisco Unity Express SIP 設定モードで **dtmf-relay** コマンドを使用します。デフォルト値を使用するには、このコマンドの **no** 形式または **default** 形式を使用します。

```
dtmf-relay {rtp-nte | sub-notify | info | sip-notify}
```

```
no dtmf-relay
```

```
default dtmf-relay
```

### シンタックスの説明

<i>rtp-nte</i>	メディア パスを使用して、Cisco Unity Express に対する着信および発信 DTMF 信号のリレーを行います。
<i>sub-notify</i>	Subscribe および Notify メッセージを使用して、Cisco Unity Express に対する着信 DTMF 信号のリレーを行います。このオプションは、Cisco Unity Express からの発信 DTMF 信号には使用できません。
<i>info</i>	Info メッセージを使用して、Cisco Unity Express から Cisco IOS SIP ゲートウェイへの発信 DTMF 信号のリレーを行います。
<i>sip-notify</i>	Unsolicited Notify メッセージを使用して、着信および発信 DTMF 信号のリレーを行います。

### デフォルト

*sip-notify*、*sub-notify* がデフォルトの組み合わせです。

### コマンドモード

Cisco Unity Express SIP 設定

### コマンド履歴

#### Cisco Unity Express

リリース	変更点
2.3	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

*rtp-nte* オプションを使用するには、SIP 通話に Unsolicited Notify を使用するように Cisco IOS SIP ゲートウェイが設定されていることを確認します。次に例を示します。

```
dial-peer voice 1000 voip
 destination-pattern 6700
 session protocol sipv2
 session target ipv4:10.100.9.6
 dtmf-relay sip-notify rtp-nte
 codec g711ulaw
 no vad
```

*sip-notify* オプションを使用するには、SIP 通話に Unsolicited Notify を使用するように Cisco IOS SIP ゲートウェイが設定されていることを確認します。次に例を示します。

```
dial-peer voice 1 voip
 destination-pattern 6700
 session protocol sipv2
 session target ipv4:10.100.9.6
 dtmf-relay sip-notify
 codec g711ulaw
 no vad
```

DTMF 信号を転送するためのオプションを複数設定します。オプションを設定する順序によって、プリファレンスの順序が決まります。複数の信号オプションを設定するには、1つの **dtmf-relay** コマンドを使用してオプションを指定します。

表 2 は、さまざまなオプションの組み合わせ、リモートエンドの機能、および着信および発信 DTMF 信号に対する信号オプションを示しています。

**表 2 DTMF リレー オプションの組み合わせ**

Cisco Unity Express 設定	リモートエンドでサポートするオプション	Cisco Unity Express への着信 DTMF で使用するオプション	Cisco Unity Express からの発信 DTMF で使用するオプション
sub-notify	—	sub-notify	no DTMF
info	—	no DTMF	info
rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
sip-notify	sip-notify	sip-notify	sip-notify
sip-notify、rtp-nte	rtp-nte、sip-notify	sip-notify <sup>1</sup>	sip-notify <sup>1</sup>
sip-notify、rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
sip-notify、info	sip-notify	sip-notify	sip-notify
sip-notify、info	未サポート <sup>2</sup>	no DTMF	info
sip-notify、sub-notify	sip-notify	sip-notify	sip-notify
sip-notify、sub-notify	未サポート <sup>2</sup>	sub-notify	sub-notify
sip-notify、rtp-nte、info	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
sip-notify、rtp-nte、info	sip-notify	sip-notify	sip-notify
sip-notify、rtp-nte、info	未サポート <sup>2</sup>	no DTMF	info
sip-notify、rtp-nte、sub-notify	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
sip-notify、rtp-nte、sub-notify	sip-notify	sip-notify	sip-notify
sip-notify、rtp-nte、sub-notify	未サポート <sup>2</sup>	sub-notify	no DTMF
sub-notify、info	—	sub-notify	info
rtp-nte、sub-notify	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
rtp-nte、sub-notify	未サポート <sup>2</sup>	sub-notify	no DTMF
rtp-nte、info	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
rtp-nte、info	未サポート <sup>2</sup>	no DTMF	info
sip-notify、rtp-nte、sub-notify、info	sip-notify、rtp-nte	sip-notify	sip-notify
sip-notify、rtp-nte、sub-notify、info	rtp-nte	rtp-nte	rtp-nte
sip-notify、rtp-nte、sub-notify、info	未サポート <sup>2</sup>	sub-notify	info

1. 着信通話の場合。発信通話の場合はリモートエンドが rtp-nte か sip-notify のいずれかに決定します。

2. rtp-nte および sip-notify はサポートしていません。

**例** 次の例では、DTMF 信号を処理するためにオプション **sip-notify** と **rtp-nte** が設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem sip
se-10-0-0-0(config-sip)# dtmf-relay sip-notify rtp-nte
se-10-0-0-0(config-sip)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0#
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">ccn subsystem sip</a>	SIP 設定モードを開始します。
<a href="#">mwi sip</a>	Cisco Unity Express で使用される MWI 通知メカニズムを設定します。
<a href="#">show ccn sip subscription mwi</a>	アクティブな MWI サブスクリプションを表示します。
<a href="#">show ccn subsystem sip</a>	DTMF リレー メカニズムを表示します。
<a href="#">transfer-mode</a>	Cisco Unity Express で SIP 通話に使用される転送モードを設定します。